



落合団地商店街人気の八百屋さん「小川青果」閉店

落合地域に団地群ができた際、地域の暮らしを支える為の落合団地商店街が作られました。小川青果店は、最初から40余年の長きにわたり、新鮮で安価な野菜類の販売を続けてこられ、他の地域からも大勢買い求められる人々で賑わいました。団地商店街の目玉というべき存在でした。小川店主は、加齢と共に体調不良になり後継者がいない為、辞めざるを得なくなりました。本当に火が消えたようで残念でたまりません。

私事ですが、40年前、小川さんは私にこの商店街にお年寄りの居場所を創るよう進言して下さいました。多摩市による公の施設はできませんでしたが、24年前にNPO法人としての「多摩生活サポートセンター」が生まれました。この進言を忘れずに、何とか維持することができましたが、関わって下さった多くの皆様のエネルギーが、ここまで育てて下さったことに感謝しております。小川さんにも深く感謝申し上げます。(佐久間記)

あきら 俳句の愉しさ 啓

俳句の肝になるのが季語です。これを主役にする事で、俳句が才能ありになったり、才能なしになったりします。

また、季語が成立した経緯などを知ること、他の構成も生きてきます。

そして、切れ字の使い方(切れ字は出来るだけ入れる)で俳句にリズムが生まれます。

この辺に醍醐味を感じています。

自分だけが見つけた！

俳句は写生と言われています。

その時見えている景色全体を描写しがちですが、自分は、これがお勧めだというものに焦点を合わせて自分の言葉を見つけた、ありきたりのこの景色がただきれいというのではなく、ここにこれがあるのと良いと表現する。この辺が俳句として一番注目するところではないかと思えます

秋の季語を見つけましょう！
たくさんありますよ！

いーち俳句を楽しむ会 八月十九日(月)

八月は夏休みがあり、加えていーちの文化サークルは大部分がお休みしましたが、俳句の会は頑張りました。差し入れの水出しコーヒート冷菓で、楽しいひとときを過ごしました。次回は九月九日です。

- ・衣替えボタン一つが見当たらず
- ・置きざりし大陸の子よ敗戦忌
- ・海の町無人の庭にユツカ咲く
- ・炎天下伸び行く直線大樑
- ・ほの白き暮色となりし土用波
- ・色あせし文庫のしおり夏に入る
- ・子ら来たるビールの冷を確かめる
- ・熱帯夜老いばれ犬と徘徊し
- ・軒先にノウゼンカズラ留守

- (知香)
- (操子)
- (美恵子)
- (亨)
- (啓)
- (知香)
- (忠夫)
- (啓)
- (むつみ)

- ・街道に日陰のめぐみ さるすべり
- ・商店街もんどり打ってつばめ去る
- ・爽やかや貧のこと言う息子かな
- ・青葉風 在宅介護 続きをり
- ・ゴキブリの子連れ叩きて鬱となり
- ・秋晴れや父に見せたきサツカーを
- ・裏街道アカシヤの花 降り積もる
- ・白玉や母偲ぶるる在りし日々

- (美恵子)
- (亨)
- (節子)
- (知香)
- (操子)
- (節子)
- (むつみ)
- (忠夫)

《創作川柳》八月投句より

異常の暑さの中、政界は総理が退陣の宣言をし、それを受けての総裁選には十人以上の立候補者とか、異例のことばかり。そのような中、いーち川柳も世相を風刺して句を寄せてくださいました。次回もよろしくお願ひします。

- ・派閥なくおれもわたしも顔を出す
- ・炎天や石につまづき腹を立て
- ・百年に湧くパリ・甲子園万歳
- ・総裁選 Downing 並び自己主張

- (迷夢)
- (迷夢)
- (脱兎)
- (流風)

- ・避暑帰り暑さと人の多さに酔う
- ・腰痛にまさか自分が泣き笑い
- ・蚊を打てばわが血吹き出し消え去りぬ
- ・体験記 加害の事実 置き忘れ

- (迷夢)
- (脱兎)
- (迷夢)
- (流風)